

# うたしない 市議会だより

## 第37号

歌志内市議会  
議会報編集委員会

発行年月日 平成26年10月1日



## 議会の動き

### 定例会の開催

9月9日～12日までの4日間、第3回定例会が開催されました。

初日9日は、専決処分承認を求めることについてを始め報告3件、教育委員会委員の任命についてなどの議案7件が審議され、平成25年度各会計歳入歳出決算の認定及び病院事業会計決算の認定について、決算審査特別委員会付託となりました。

10日は一般質問4名、11日は休会、12日は一般質問3名が行い、その後、意見書10件が審議され閉会しました。

↑ かもい岳山頂からの  
雲海（東光・本町方面）

平成26年  
第3回定例会  
9月開催

### もくじ

- 議会の動き …………… 1P
- 一般質問 …… 2～4P
- 委員会報告 …………… 4P
- 雲海の紹介 …………… 4P
- 議会報告会 …… 5～6P
- 可決された意見書 …………… 6P

### 【道央初の「大雨特別警報」 9月定例議会1日延期】

道内は9月11日、強い寒気の影響で豪雨となり、札幌管区気象台から札幌市をはじめ石狩、中空知、南空知、胆振の計35市町村に「大雨特別警報」が発表されました。

「特別警報」とは、重大な自然災害が発生する可能性が非常に高まった場合に気象庁が発表するもので、分類としては、大雨、暴風、高潮、波浪、暴風雪、大雪の6種類があり、「数十年に一度」の強さを基準としています。注意としては、「ただちに命を守る行動をとって下さい」と呼びかける発表であります。

このことから、定例議会を1日休会し、12日を最終日としました。

# 一般質問



梶 敏

## 一 災害危険箇所について

問 歌志内市の災害危険箇所について報道されたが、内容と注意点は。

答 当市の土砂災害危険箇所数は、193箇所、指定された区域の危険周知、警戒避難体制の整備が必要です。

問 急傾斜地の危険箇所は。

答 131箇所です。

問 工事終了した所は。

答 本町地区9箇所・歌神地区6箇所・神威地区1箇所・文珠地区3箇所、計19箇所。

問 来年度以降の工事予定は。

答 本町地区の予定です。

問 工事予定地域の住民や町内会に説明会の予定は。

答 工事予定が北海道で、説明会の有無について現状ではわかりませんが、地域住民への説明は市が行っていく。

問 危険地域での土砂や雪の落下で河川が埋ったり、また家屋への影響は調査するののか。

答 工事にあたり、土砂や雪の影響を考慮して対策工事が行われると伺っている。

## 二 放置空戸の対策について

問 道道沿いや住宅密集地区で、土地を所有している無人危険な空戸住宅で、土地を市に提供する条件で市が建物を解体等の対策は。

答 空戸住宅は、所有者の財産で、所有者が適正に管理する危険判断基準の検討は必要ですが、土地・建物の寄附を条件として市が解体することには慎重に対応しなければならぬ。なお、行政代執行で所有者に費用負担を請求する場合もある。国では空戸対策等対策推進法の検討をしております。

## 三 歌志内太陽ファームの今後について

問 当市の特産品づくりに期待して誘致し、市民と一緒に汗を流し協力したが、現在の維持管理の程度は。

答 現在ワイン用のブドウ栽培は行われていない。羊の飼育事業を札幌市への移転が延期されているが、今後の状況を見極め対応する。



下山 則義

## 一 防災計画の見直しについて

問 当市の防災計画・避難所の見直し状況を伺います。

答 防災計画改訂にかかる防災会議を開催しており、12月に地域防災計画書が完成し、避難所は数日間滞在ができる「指定避難所」と緊急時に命を守る「指定緊急避難所」に区分・選定し、広報折り込みチラシ等で市民に周知する。

問 歌志内市の防災について基本となる考え方を伺います。

答 危険箇所の多い当市では、命を守るため、危険な場所から早めに避難する事が大切で、注意喚起を呼びかける「避難準備情報」を発令します。

## 二 地域おこし協力隊について

問 地域おこし協力隊の活用を考えを伺います。

答 当市での活用は、地域おこしや住民の生活支援などが考えられ、現在「定住促進対策検討委員会」で、意見・提案等の中でも、取り組むべき活動内容にもあげられ、実施

に向けて近隣市町の内容を参考に検討を進めて行く。

## 三 幼・保の中学校校舎活用について

問 幼稚園・保育所が、中学校校舎を活用する事業の検討について進捗状況を伺います。

答 子ども・子育て関連三法等国の動きをふまえ、認定こども園への移行に伴い、施設活用について検討している。

## 四 放課後子どもプラン推進事業、チャレンジサマーの実施状況について

問 事業の効果を伺います。

答 放課後子どもプラン推進事業は、東光児童館において児童厚生員が、書道の指導を行うもので、放課後や休日の子どもの居場所づくり、生活習慣の向上に効果がある。チャレンジサマーは、普段と違う学習環境が新鮮であったと好評で、学習習慣の向上に効果があったと考えている。

問 今後の実施を伺います。

答 東光児童館での書道教室は、3月まで毎週土曜日に実施、チャレンジサマー事業の様に、冬休みの長期休業を活用し、同様の事業を行う予定。



めぐ さとし

## 一 住民サービス充実・定住対策について

住民要求に対してどれ位積極的に向き合い、話しを進めて行くか、行政の役割として、住民からの期待が大変大きなものになっていきます。いかに住んでいて良い街か、他の市町との差別化で市独自の住民サービスの向上が当市において重要と考えます。

人口減少と高齢化は全国的課題と重要問題である今日、様々な自治体である手この手を使いこの問題に向き合っています。当市も最近では徐々に住民サービスの拡充・充実に力を入れていますが、自治体を動かす源はやはり、住民の声です。住民の声を聞いてそれを反映させる、それが行政の役割であると私は思っています。

問① 子ども医療費無料化の拡充は考えられるか。

答 年齢拡大の必要性を感じている。内容の検討を進めている。

問② 除雪ヘルパー制度内容（除雪範囲変更等）の拡充を

# 一般質問

行って頂きたい。

**答** 25年度は36世帯に対し7人のヘルパーで実施したが、ヘルパーの行動範囲や体力的な面で、現行の範囲（玄関先から公道までの幅1m程度）で実施して行きたい。

**問③** 乗り合いタクシー等で買い物・通院弱者の移動の確保を進めて頂きたい。

**答** 市内に路線バスが運行していたり、通院・買物の行き先が市外であるという問題もあり、現状では難しいが、検討する必要がある。

**問** 市内だけでも運行出来ないか。

**答** 地域内で対策を行っている所もあるので、そういった地域に対して、どう援助するかなども含めて、高齢者の足の確保は重要な問題なので今後検討して行く。

**問④** 定住対策として市外通勤者に対しての援助は行えないか。

**答** 定住促進対策検討委員会でも同様な意見が複数出た。内容について検討を進めているが、事業者の通勤手当との兼ね合い等の問題もある為、慎重に検討することとしている。



湯浅 礼子

**一 介護ボランティア・社会貢献で街の活性化を！**  
について

**問** 高校生に除雪ボランティアをお願いできないのかとの声があるが如何か。

**答** 高校生が除雪ボランティアを行う場合、有償の場合は、現在行っている委託契約を高校生と締結できるか、降雪状況に応じて、その都度対象世帯に移動し対応できるのか、保護者及び学校長の了解が得られ、生徒の安全は確保出来るかなどに配慮しなくてはならない。高校生に除雪ボランティアをお願いするとすれば、無償の場合で、屋根からの落雪によりたまった雪の除去など、日時を決めて集団で行う「除雪隊」のような方式が良いと考えている。

## 二 市民サービスの向上について

**問** バス待合所のない所に設置要望の一般質問を何回もしたが、進展していない。

**答** 待合所が設置されていない箇所は、設置場所の面積の

不足や、利用頻度が少ないことが主な理由。周辺の安全性、道路管理者等土地所有者の了解、除排雪の課題などの関係もある。また、地元町内会からの要望がない箇所は一定の理解がなされているものと思っている。以上の事から新たな待合所の設置は難しいと判断している。

**問** 砂川の病院へ行く時などに、乗り合いタクシーは自治体で何か出来ないのかと、声をたくさん聞かすが、乗り合いタクシーなど当市の考え方は。

**答** 買い物や通院弱者の移動の確保については、これまで、デマンドバスや買い物コンシエルジュ、車両貸し出しなど、先進地の事例も研究してきたが、これらの地域は、既に路線バスが廃止された後の交通手段としてや、市内の商店街と協力しながら取り組むといったケースが多く見受けられます。当市は、市内に路線バスが運行していたり、通院や買い物の行き先が、市外であったりという問題もあり、なかなか難しい。今後は、当市の現状にあった移動の手段について、検討する必要があると考えている。



本田 加津子

**一 人口減少対策について**

多くの地方では、高齢者を含めて急激に人口が減少する深刻な事態を迎えています。

歌志内市におきましても早急に対策を講じなければならぬ状況にあるのではないかと考えています。

そこでお伺いします。

**問** 歌志内市定住促進対策検討委員会の実施状況と具体的な取り組み内容についてお伺いします。

**答** 検討委員会につきましては、定住対策に関する課題を調査検討し、定住対策を総合的に推進する事を目的として設置いたしました。これまでの主な検討内容としましては、定住促進としての住宅建設の受け皿となる土地の確保としまして「市有地の売却」についての調査・検討をはじめ、移住定住対策に係る新たな施策やアイデアなど、意見・提案を募集しました。取りま

めた内容については、分野別に分類後、各部会において具体的施策の実施の可能性や優先順位、効果などについて検討をいただいております。現在、最終的な取りまとめを行っているところです。

**問** 定住に対する様々な要望を把握するために実施していることについてお伺いします。

**答** 定住対策など、とりわけ人口減少対策につきましては、様々なご意見やご提案があるものと考えております。庁内におきましても、検討委員会を設置し、全職員がこの問題に対し危機意識をもって取り組んでいくところであります。市民の皆さまのご意見などにつきましては、今後開催されます「地区別市政懇談会」をはじめ、「町内会連合会」の意見交換、「小中学生との語る会」など、様々な機会を捉まえご意見・ご提案を把握することとしております。また、現在実施しております「住生活基本計画」策定に係るアンケート調査の中でも、定住に関する設問を設定しており、この結果からも意見や要望等を把握できるものと考えております。



かわの 敏夫

一 市内各所管及びグループ間の連携について

問 各課を部会とし設置した

「歌志内市定住促進対策委員会」の提案はどの様なものか。

答 定住促進として住宅建設用土地の確保のため市有地の売却など分野別に優先順位、効果などを検討し最終的な取りまとめを行っている。

問 幼保一体化に関して教育委員会と保健福祉課の調整はされているのか。

答 現在認定こども園への移行に向けた協議をしている。

問 中高校生のアルバイトとして高齢者宅の除雪ボランティアを各課連携できないか。

答 現在除雪ヘルパーの派遣は36世帯に7人のヘルパーと委託契約をしている。中高生と委託契約ができるか。

問 市民と直接対話が必要なグループが連携し接客研修をすることはどうか。

答 市民との信頼関係を築く思いやりを持った応対のため講師を招いて研修をしている。

二 市と社協の連携について

問 社協への委託事業の効果はどうか。

答 社協は地域福祉の推進を図り地域の高齢者の生活に最も自然に寄り添う機関として各種事業を委託している。

問 デイ・サービスセンターの今後の在り方の検討は。

答 社協にて20年運営し、そのノウハウを活かした事業の収支バランスを検討する。

問 市と社協は連携強化のため何を求めるか。

答 社協は地域福祉を図る機関で住民で組織される民間の社会福祉法人。行政と密接な連携で取り組む必要がある。

二 歌志内市の教育について

問 全国学力テストの成績公表についてはどうか。

答 子どもの学力状況について保護者等と情報共有は必要だが序列化の情報は如何か。

問 幼稚園舎改修の計画は。

答 建て替えや大規模改修を考えるが動向を検討する。

問 幼保一体化の構想は、どの程度進んでいるか。

答 園舎の老朽化、少子化の現状で新築が困難である事などをふまえ将来的に幼保の連携検討が必要と考える。

【行政常任委員会報告】

委員長 川野 敏夫

▼7月30日

- ・平成25年度病院事業会計決算状況（見込み）について
- ・平成25年度決算状況（見込み）について
- ・公債費の推移について
- ・市車両の運行及び整備管理の状況について
- ・市営プールの管理運営状況



7月16日の集中豪雨による土砂崩れ現場を視察する様子（本町沢町）

について（現地視察含む）

・市民体育館の管理運営状況について（現地視察含む）

・チビッコ広場、子どもの遊び場の管理運営状況について（現地視察含む）

▼8月27日

- ・消費生活相談業務の現況について
- ・市民相談の状況について
- ・ごみ分別収集の現況について
- ・ごみの不法投棄及び不適切排出の状況について
- ・平成26年度建設事業の工程について
- ・生活習慣病予防対策の状況について
- ・除雪ヘルパー制度の状況について



議長室で雲海のポスターをバックに

【かもし岳の雲海】

議長 山崎 数彦

市民の皆さん、「雲海」をご存じですか。山間部などで、放射冷却によって霧ができ、遠くの間々が雲の海に浮かぶ島に見える現象の事を雲海と呼んでいます。

ホテルかもし岳温泉では、ホームページで雲海を全国に紹介し、市としても定住促進のポスターに利用しています。私も先日、霧の中をかもし岳観光道路を通り山頂へ登ってみました。

朝4時30分、数人の方がかもし岳山頂にあるスタートハウスの屋上にカメラを設置し、雲海の最高の瞬間を捉えようとシャッターチャンスを狙っていました。聞くと、前日の夜10時からカメラを構えていた方もいました。かもし岳山頂からの眼下は、遠い山々の山頂が雲海の中にポツカリと島が浮かんだようになり神秘的・幻想的な光景です。

この現象は10月中旬頃までが見ごろです。市民の方にかもし岳の雲海を観光スポットとして観て欲しいと願っています。

## 「平成26年度 議会報告会」

町内会のご協力を頂き「議会報告会」が開催されました。議会が市民から信頼され、主体的なまちづくりを実現するには、市政の情報をも可能な限り市民へ提供し、情報の共有化を図る事が大切であります。

議会報告会は市政の関心をより高めて頂く為の方法の一つであります。

また、報告会は「協働のまちづくり」を推進する為の環境整備に資するものと考えており、さらには、この機会を市民と議会の距離を縮める大切な場と位置付けている所であります。

### 『今年は2つのテーマ で報告しました』

#### ◎人口減少対策について

本市は明治23年の空知探炭所の開設に始まり、全国でも稀にみる純産炭地として発展し、昭和23年には人口も4万6千人に達しました。しかし、国のエネルギー政



文珠第3町内会の様子

策転換により炭鉱の閉山が相次ぎ、関連企業も縮小等により人口は激減し、平成7年3月には、最後の1つであった空知炭鉱が閉山した。純産炭地であることから、炭鉱に代わる新しい産業の創出が進まず、本年3月末には人口4千人を割りました。

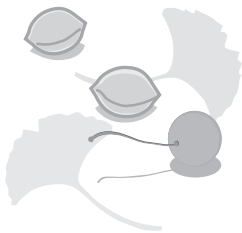
空知炭鉱の閉山前からポスト石炭として企業誘致、新産業の創出などに幅広い分野で施策を転換しているが、厳しい状況が続き、現在に至っています。この様な経過と、人口減少対策の新たな施策の現況を報告しました。

#### ◎保健予防 対策(健診)について

本市は「歌志内市健康増進計画」に基づき予防対策や健康づくり事業を推進しています。

特に健康の寿命を延伸するため、20〜30歳代の健康診査や後期高齢者健康診査の無料化を今年度から実施しています。

市の政策として、実施している各種健診等を紹介し病気が重症化しないための予防知識などについて説明しました。



中村地区の様子

### 『市に対する市民の 意見・要望』

#### ●商店

・市内の住宅を集約すると、商店の経営が成り立つのではないか。

・公営住宅等の空戸で日帰り売店ができないか。

・市営のスーパーがあっても良いのではないか。

#### ●除雪

・各町内会ごとの状況によって、除雪対策を講ずるべきではないか。除雪ができないと転出する方もいる。

・除雪機の貸し出しを11月から、また、できれば2台貸し出しできないか。

#### ●乗り合いタクシー

・検討できないか。

#### ●定住

・出生祝金を支給してはどうか。

・3人目の子どもに対し、高校生までの生活援助はどうか。

#### ●健診

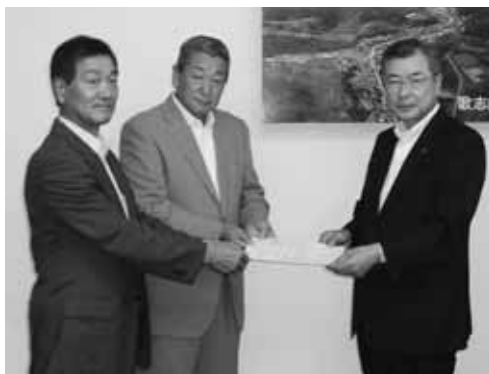
・特定健診に骨密度検査を追加できないか。

・医療機関と一体となっているのか。

#### ●住宅

・公営住宅の入居条件の緩和ができないか。

など、市へ数多くの意見・要望がありました。議会として、あるいは議員として取り組む案件等について取捨選択をした上で集約し、「市に対する市民の意見・要望」として、市へ要請しました。





しらかば町内会の様子

### 多くの参加を頂くために

今年、前回の参加者のご意見やアンケート調査の結果に基づき、報告会の所要時間を約1時間30分位にし、議会側からの報告事項を2件として、市民からの質問時間を多く取れる様にしました。

また、働いている人や、町内で参加しやすい日曜日や、夜に日時を調整し開催しました。

### 開催場所と参加人数

館	7/ 8	14名
会	7/ 9	13名
館	7/16	4名
一	7/17	9名
所	7/18	12名
所	7/22	14名
館	7/24	10名
館	7/27	10名
合計8日間参加人数86名 (男性48名 女性38名)		

### 北海道新聞から

#### 歌志内へのエール

議長 山崎 数彦

先日、北海道新聞一面の「卓上四季」で、当市の芥川賞作家・故高橋揆一郎さんが紹介されました。

紹介者は、論説委員の加藤利器(りき)さんです。

加藤さんが、生前の高橋さんにお会いした時、眼光是鋭いが、野太い声の中に高橋さんの温かい心を感じたようです。

また、「高橋文学」は、炭鉱で暮らす人々の日常を見事に映し出しており、これは、ヤマで生まれ育ち、ヤマで働いた高橋さんならではの文学だと加藤さんは表現しています。歌志内の人口は、3月末で4千人を下回った全国で最も人口の少ない市。

まちを一望する歌志内公園に文学碑が建ち、「歌志内なくしてわが文学なし」と刻む。

高橋揆一郎さんのこの歌志内に対する熱き思いを、過疎に立ち向かう力と勇氣に変えたいと卓上四季を通じて加藤さんが歌志内にエールを送ってくれました。

## 可決された意見書

- 「危険ドラッグ(脱法ハーブ)」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書
- 奨学金制度の充実を求める意見書
- 軽度外傷性脳損傷に係る周知及び適切な労災認定に向けた取り組みの推進を求める意見書
- 産後ケア体制の支援強化を求める意見書
- 魅力ある地方都市の構築へ向けた施策の推進を求める意見書
- 電力料金再値上げの撤回を求める意見書
- 核廃棄物の最終処分地建設に反対する意見書
- 2015年度予算(介護・子ども)の充実・強化を求める意見書
- 軽油引取税の課税免除措置の継続を求める意見書
- 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

※これら10件の意見書は9月12日に内閣総理大臣、各関係大臣、衆・参議院議長、その他関係機関へ送付されました。

応援メッセージを発してくれた加藤さんに、歌志内市に住むものとして、もっともつと頑張るぞと誓いたいものです。

### 編集後記

寒暖の差が紅葉を進める季節になりました。皆様におかれましては議会報告会に足を運んで頂き誠に有難うございました。今回の各議員の一般質問の多くは皆様の意見が元になっています。ものが有りますので是非読んで頂きたいと思えます。編集長 めが